



2015 紀の国 わがやま大会
第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

審判副委員長

上土谷 政高

戦評用紙

種 別	知的障害の部 (女子)	会 場	海南市総合体育館
-----	-------------	-----	----------

平成 27 年 10 月 25 日 日 曜日	第 2 日目
------------------------	--------

B	コート	第 6 試合
---	-----	--------

☐ 回戦	☐ 準決勝	☒ 交流試合	☐ 3位決定戦	☐ 決勝戦
-----------------------------	------------------------------	--	--------------------------------	------------------------------

◎試合結果

勝利チーム									
和歌山県	2		25	—	16				
都道府県・市名			25	—	23		0	宮城県	
				—				都道府県・市名	

【審判員】

主 審： 清水 学

副 審： 山本 郁哉

記録員： 坂 本 雅 律

A・S： 坂 本 雅 律 福島 千晴

【戦 評】

記載者： 増野 彰

第1セット序盤、和歌山県6番谷口（南）のサービスエースと相手のミスでリードを奪う。

中盤、和歌山県は6番谷口（南）とキャプテン橋本選手のスパイクで加点する。対する宮城県は、2番安部（麻）選手を中心に粘り強いレシーブから3番菅原選手のスパイクや相手のミスで得点し、ゲームは終盤へ。終盤、レシーブで粘る宮城県に対して、和歌山県はキャプテンの橋本選手にトスを集めて得点を重ね25－16で第1セットを先取する。

第2セット序盤、和歌山県6番谷口（南）選手と東選手のサービスエース、キャプテン橋本選手のバックアタックなどでリードを奪う。宮城県は、2番安部（麻）の安定したレシーブから相手のミスを誘い応戦する。その後、宮城県キャプテン大川選手の連続サービスエースで同点に迫いつくと、3番菅原選手のスパイクが決まり逆転する。その後、両チーム安定したプレーで得点を重ねゲームは終盤へ。終盤、両チームともエースヘトスを集め緊迫した攻防の中、最後は和歌山県キャプテン橋本選手のスパイクで連続得点し和歌山県が勝利した。